

3 研究のまとめ

(1) 成果と課題

ア 研究の内容に関する成果

- 1 年次に作成した「チェックリスト」と「教師の手立て表」については、授業実践を行っていく中で、お互いの関連付けや表の項目について検討を重ねていき、若手からベテランの先生方を対象としたものを作成できたと考えます。
- 日々の授業の様子と意識調査で分析した生徒の実態を踏まえ、「チェックリスト」と「教師の手立て表」を照らし合わせながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点から質的改善を図ったことで、生徒の資質・能力の育成につながったと考えます。

イ 研究の課題

- 今後も、単元を貫く学習課題の設定と学習内容をつなぐ単元構成について、多くの単元で実践事例を増やしていく必要があります。

(2) 終わりに

平成 30 年度は、神崎市立神崎中学校、嬉野市立塩田中学校において、新学習指導要領の趣旨を踏まえた中学校社会科の質的改善を図った授業を提案する公開授業研究会を開催し、多くの先生方に参会していただきました。貴重な御意見、御感想を頂き、本研究の成果と課題を明らかにすることができました。本研究の成果を、生徒の学びに還元していただければ幸いです。多くの先生方の御参会に感謝申し上げます。

最後に、本研究に御協力いただきました公開授業研究会会場校の皆様へ深く感謝、お礼申し上げます。